

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年10月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2017年10月5日～30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 115社
- 回収率 57.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の10月の状況を見ると業況DIは、前月より2.2ポイント悪化の▲6.9となった。

2017年9月以来2ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

業種別では、製造業、卸売業の2業種において悪化した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲17.4と当月に比べ10.5ポイント悪化を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、製造業、小売業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 2017年11月～ 2018年1月
業況	▲8.1	▲3.7	▲4.9	1.9	▲4.7	▲6.9	▲17.4
売上	1.8	5.6	9.7	4.7	8.5	▲0.9	▲6.1
採算	▲6.3	▲8.3	0.9	▲1.9	▲2.9	▲10.4	▲15.6
仕入単価	▲33.3	▲31.5	▲27.2	▲24.7	▲34.0	▲31.3	▲30.5
従業員	27.9	25.9	32.1	29.5	35.9	34.8	30.4
資金繰り	3.6	▲3.7	1.9	7.6	▲4.8	▲3.5	▲10.5

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 2017年10月～ 2018年1月
建設	7.4	11.6	19.3	4.0	23.1	7.2	▲21.4
製造	8.0	▲4.2	4.4	11.5	9.1	▲4.2	▲20.8
卸売	▲25.0	0.0	▲22.7	▲5.0	▲13.6	▲8.3	0.0
小売	▲18.7	▲29.4	▲21.4	▲6.7	▲17.7	▲5.6	▲16.7
サービス	▲21.0	▲5.6	▲16.7	0.0	▲36.8	▲28.5	▲28.5

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・3月まで改修大型工事が多くある(設備その他) ・特に12月後半から1月にかけての冬場は冬期養生費等の問題で仕事が中断するため売上減少(建築) ・技術者不足に加え、天候不順、資機材確保が難しくなってくるのが予想され、採算面での悪化が懸念される(総合工事) ・自社技術職員不足、協力業者の技能職員不足(設備その他) ・冬季を何とかしたいと50年間悩んでいるが・・・。(設備その他)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季も堅調(金属窯業他) ・年末に向かい、売上高減少傾向。今のところ収益面に影響はないと思慮するが、今後の見通しは決してよくないと判断(家具木材) ・印刷業界としての厳しい景況感に大きな変化はない。衆議院議員選挙関連はスポット案件としてプラス要因(印刷出版) ・受注状況は改善してきている。一部資材に値上げの要請があり、今後も原価上昇が懸念される(家具木材) ・材料支給での受注に切り替え中で資金繰りは楽になってきている。今後も材料支給での受注比率を高めていきたい。向こう3か月の先行き見通しは従来の受注月間パターンと変化の兆しがあり不確定要素が大きく見通せない(金属窯業他)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・決算後(7月以降)売上は前年比100%をキープしているが、利益で若干下回っている。今後についてはあまり悪い要素が見当たらないのでこのまま推移すると思われる(機械鋼材) ・市内の景気動向が鈍化し売上減少傾向。地方で売上増収を図っているが、それに伴い経費も負担となる。仕入れは常に見ていないと上昇傾向である(その他) ・利益率が下がっている(その他) ・前年度と同等の業況(機械鋼材) ・選挙のため、公共事業発注が遅れる見通しであり収益には僅かながら影響があると想定(機械鋼材) ・特段変化なし(食料品)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・灯油の需要期に入り、仕入値の上昇に伴い販売価格も上昇。上げ幅は小幅になると思われる(その他) ・従業員不足が解消できない(その他) ・最低賃金引上げによる人件費の増加(食料品) ・秋物商品が店頭揃い、販売体制は整っているが、暖かいような寒いような気候で来店客の客足が伸びず苦戦(衣服身の回り品) ・昨年までの新型車の販売と電子デバイスによる安全装備などによりこれまで前年を上回る販売状況であったが、10月に入り受注がやや下降している(自動車)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・個人消費が悪いので車を修理しない(自動車修理) ・施設の老朽化による設備の不具合。売上は前年並みを見込むが同業者との価格競争により、市内価格が下落(外国人観光客入込が落ち着いたこともあり)(ホテル旅館) ・技術者の高齢化と慢性的な人手不足(その他) ・昨年に比べ13%減(理美容クリーニング) ・最低賃金の上昇でパートの年収増加が悩みのたね。103万円に抑えなければならず、休みを増やさなければならない。人手不足なのに頭が痛い(飲食) ・仕入単価が上昇し続けている。人件費も上昇している(飲食)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI34.8 ポイント悪化、採算 DI18.1 ポイント悪化、仕入単価 DI1.3 ポイント悪化、資金 DI4.5 ポイント悪化、従業員 DI7.9 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 15.9 ポイント悪化となった。業種別では、建築横ばい、総合工事 17 ポイント、設備その他 23 ポイント悪化となった。12 月後半から 1 月にかけて冬場は冬期養生費等の問題で仕事が中断するため売上が減少するとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI5.0 ポイント悪化、採算 DI13.3 ポイント悪化、仕入単価 DI16.0 ポイント回復、資金 DI4.6 ポイント回復、従業員 DI14.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 13.3 ポイント悪化となった。業種別では、家具木材 5 ポイント回復、食料品 20 ポイント、印刷出版 25 ポイント、金属窯業他 11 ポイント悪化となった。年末に向い売上高減少傾向にある。今のところ収益面に影響はないと思慮するが、今後の見通しは決してよくない判断との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI4.9 ポイント悪化、採算 DI8.0 ポイント悪化、仕入単価 DI11.0 ポイント回復、資金 DI3.7 ポイント悪化、従業員 DI6.8 ポイント上昇し不足感が高まった。総じて業況 DI は 5.3 ポイント回復となった。業種別では、繊維・衣服等、機械鋼材他横ばい、食料品 2 ポイント、その他 14 ポイント回復となった。市内の景気動向が鈍化し売上減少傾向。地方で売上増収を図っているがそれに伴い経費も負担となるとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI5.6 ポイント悪化、採算 DI6.2 ポイント回復、仕入単価 DI13.1 ポイント回復、資金 DI1.0 ポイント回復、従業員 DI2.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 12.1 ポイント回復となった。業種別では、衣料品横ばい、食料品 33 ポイント、その他 10 ポイント、自動車 10 ポイント回復となった。秋物商品が店頭に揃い販売体制は整っているが、天候による影響で客足が伸びず苦戦しているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI12.0 ポイント回復、採算 DI1.5 ポイント回復、仕入単価 DI25.5 ポイント悪化、資金 DI11.1 ポイント回復、従業員 DI16.6 ポイント上昇し不足感が高まった。総じて業況 DI は 8.3 ポイント回復となった。業種別では理美容クリニック 17 ポイント、飲食 25 ポイント悪化、その他、整備業横ばい、ホル 33 ポイント、運送 33 ポイント回復となった。最低賃金の上昇でパートの年収増加が悩みのたね。103 万円に抑えなければならず休みを増やさなければならぬ。人手不足なのに頭が痛いとの声も寄せられている。</p>